

2025 年 4 月 24 日

中央日本土地建物グループ株式会社

米国・ネバダ州ノースラスベガスにおける 物流施設開発プロジェクトに参画 ～当社グループ初の米国・西海岸における物流開発～

中央日本土地建物グループ株式会社は、子会社の中央日本土地建物株式会社（千代田区霞が関一丁目 代表取締役社長 三宅潔）が、三井物産株式会社（千代田区大手町一丁目 代表取締役社長 堀健一）の米国子会社 MBK Real Estate 社の 100%子会社である MBK Industrial Properties 社（以下、MIP 社）と合意し、米国ネバダ州ノースラスベガス市における物流施設開発プロジェクトに参画することを決定しましたので、お知らせします。本プロジェクトは、当社グループにとって米国・東海岸エリアのヴァージニア州サフォークに続く 2 件目の物流開発事業です。竣工は 2026 年 4 月の予定です。

ラスベガスエリアは、カリフォルニア州やアリゾナ州など西部主要都市への配送拠点として地理的に優位性があり、近年物流拠点として注目を集めています。特にノースラスベガス市は州間高速道路（I-15）に近接し、米国西部主要都市およびラスベガス中心地へのアクセスが良好であることから、物流施設が集積するエリアです。また、従来の娯楽産業としての知名度に加え、ネバダ州では州所得税がなく、企業活動や事業展開に適した環境が整っていることから、観光業以外にもさまざまな産業が発展しています。物流施設の一大拠点であるカリフォルニア州と比較して運営コストが低いことから、西海岸における重要な流通拠点としての地位を確立しつつあります。

当社グループはこれまでも、米国における賃貸集合住宅事業や複合開発事業に参画してきました。2023 年 10 月には三井物産グループとの初の協業案件としてカリフォルニア州のシニアレジデンス事業に取り組んでおり、今回は 2 件目の共同案件となります。

当社グループは今後も社会動向の変化とニーズを的確に捉え、人々の豊かな暮らしを支える事業に積極的に取り組んでいきます。



◆プロジェクト概要

本プロジェクトは、中央日本土地建物の米国現地法人 Chuo-Nittochi America Corporation の 100%子会社である Chuo-Nittochi II LLC と MIP 社による共同事業体にて、ノースラスベガス市内の約 58,000 m²の敷地に物流施設を開発するものです。

ラスベガス中心地まで車で約 30 分、高速道路のインターまで車で 5 分と、ノースラスベガス市のなかでも好立地な敷地に、延床面積約 29,000 m²の最新の設備を備えた物流施設を計画しています。



外観イメージ

※本ニュースリリースに掲載されている完成イメージは、類似物件の完成イメージを使用しています。
実際のプロジェクトの完成イメージとは異なる場合がありますので、ご了承ください。

◆物件概要

所	在	ネバダ州ノースラスベガス市 Sloan and Fisher Avenue, North Las Vegas, NV		
用	途	物流施設		
構	造	鉄筋コンクリート造 1 階建て		
敷	地	面	積	約 58,679 m ²
延	床	面	積	約 29,553 m ²

◆スケジュール

着	工	2025 年 6 月（予定）
竣	工	2026 年 4 月（予定）

中央日本土地建物グループ株式会社 経営企画部広報室 （平山・寺川）
Tel.03-3501-6906 Fax.03-3506-8940